

# 1 施策の進捗状況調査結果

【評価基準】  
 A: 定常的实施  
 B: 一部着手  
 C: 未着手  
 F: 完了

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	自然環境調査の実施	自然環境調査部会による調査を実施した。	A	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				あきる野百景などの周知・活用	あきる野百景については、市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置している。また、写真パネルを五日市郷土館での展示に貸し出した。また、商工観光課で作成したあきる野百景めぐりパンフレットへの情報提供を行うとともに、画像提供を行った。その他、必要に応じてあきる野百景に登録された場所の画像提供を行った。	A	継続して市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置する。五日市郷土館へのパネルの貸し出しを継続する。また、必要に応じて情報・画像提供やパネルの貸し出しを行う。	環境課 (H24～環境政策課)	
				あきる野百景めぐりマップを散策コースの案内書として、市内外に約15,000部配布し、市のPRを行った。	A	あきる野百景めぐりマップを散策コースの案内書として、市民及び市外の観光客に配布し、市のPRを図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)		
				あきる野の自然を広く知ってもらい、保全へ繋げるための啓発事業として、「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを作成した。	B	「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットの無料配布を開始する。また、生物多様性地域戦略の策定と併せ、情報提供・普及啓発についても検討する。	環境課 (H24～環境政策課)		
				生物多様性についての情報提供・普及啓発（講座、イベントの開催等）	11月12日・13日に開催したあきる野市産業祭において、森林レンジャーあきる野が調査を進めている市内の動植物や滝・沢、巨樹などの地域資源の写真展示を行った。また、1月4日から30日までの期間に、秋川渓谷瀬音の湯の縁側ギャラリーで同様の写真展示を行った。さらに、12月15日から17日の期間で東京ビックサイトで開催された環境展示会エコプロダクツ2011にオール東京62市区町村共同事業として出展し、本市が進めている森づくりや本市の自然環境等の展示を行った。	A	平成23年度と同様、様々な機会を捉えて情報提供等に努めていく。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
				自然環境調査部会（植物班）において、あきる野版RD種の検討を進めた。	B	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果を基にあきる野版RD種の選定を検討する。	環境課 (H24～環境政策課)		
				自然の保全・管理活動の実践	あきる野版RD種の選定	森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、哺乳類や鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行っている。これにより、動物で、哺乳類3種類、鳥類28種類、爬虫類4種類、両生類5種類、魚類3種類、昆虫6種類の合計49種類の絶滅危惧種（東京都の2010年レッドリストによる）を確認している。	B	平成23年度と同様、調査を継続する。自然環境調査部会と連携し、あきる野版RD種の選定について、その意味や効果、活用方法等を理論的に検討した上で取り組んでいく予定である。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	自然の保全・管理活動の実践	モデル地区の選定には至っていない。	C	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査結果を参考に、モデル地区の選定を検討する。	環境課 (H24～環境政策課)		
					適正評価及びモデル地区等の選定	B		B	平成23年度と同様、市内の森林の巡視による調査を継続する。モデル地区の選定については、森林レンジャーあきる野及び自然環境調査の調査結果を参考に検討する。(ただし、モデル地区としての選定する区域について、規制や公有地化、整備手法など、有効な保全方法の検討が必要である。)	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	B	B	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施した。独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、秋川北岸の崖線緑地等において特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施した。	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施する。モデル地区としてではないが、独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施する。また、秋以降アライグマ・ハクビシン対策を実施する予定である。モデル地区の選定を待たずに保全対策が急がれるものについては、随時対応を図っていく。	環境課 (H24～環境政策課)
					モデル地区ではないが、菅生若宮子ども体験の森において、町内会長や青年会議所、環境学習等に精通した者による実行委員会を組織して、自然体験等の事業を行うとともに、環境に配慮した森林の保全・管理活動を実施した。	B		菅生若宮子ども体験の森において、実行委員会により、環境に配慮した森林の保全・管理活動を実施する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
					生物多様性の保全のための方針の確立	B	B	自然環境調査を実施し、調査結果については、方針検討の資料にする。また、生物多様性地域戦略策定に関するシンポジウムに参加し、情報収集を行った。	生物多様性地域戦略策定に向け情報収集を行うとともに、各種団体の意見を聞きながら、検討を行う。	環境課 (H24～環境政策課)
						B	B	森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行うとともに、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行い、絶滅危惧種や外来生物を確認、整理している。	平成23年度と同様、市内の森林の巡視による調査を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					外来生物対策	A	A	独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を実施した。また、広報及びホームページでオオキンケイギクの除草の呼びかけを行った。	独立行政法人森林総合研究所の協力を得て、特定外来生物であるタイワンリスの捕獲調査を継続する。また、東京都の制度を利用し、市民と協働でアライグマ等の対策を進める。オオキンケイギクについてもホームページで呼びかけを継続する。	環境課 (H24～環境政策課)
						B	A	森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行っている。これにより、アライグマやタイワンリス、ガビチョウ、カオグロガビチョウ、ソウシチョウ、アカミミガメ、ウシガエル、アメリカザリガニなどの外来生物を確認している。	平成23年度と同様、市内の森林の巡視による調査を継続する。最も注目されているアライグマは、急速に個体数が増加していると考えられ、地域によっては、農作物に被害を与えるとともに、両生類や魚類を捕食してしまうなど、希少な生物の生態にも悪影響を及ぼしている。特に、トウキョウサンショウウオなどの小動物をよく捕食することが確認されている。このように自然のバランスが大きく崩れる可能性があることから、外来種の調査や防除などの対策が必要である。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般 実効性の高い保全の仕組みづくり	緑地保全制度の実態の評価 (評価の指針等の作成、実態評価)	評価の指針等の作成等には至っていないが、環境委員会において、街路樹や公園の樹木等のあり方について課題が出され、担当課との調整を行った。	B	生物多様性地域戦略の策定の検討とともに、街路樹や公園の樹木等の管理のあり方について検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
			実効性の高い保全制度の検討・確立	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定と併せ検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				平成23年度から、菅生地区をモデルとして産学官が連携した森づくりを進めており、NECフィールドینگ(株)、明星大学、菅生町内会、あきる野青年会議所、NPO法人ふるさとの森づくりセンター、あきる野市の6者で組織するあきる野菅生の森づくり協議会で実施している里山活性化事業において、様々な主体が協働して森づくりに取り組んでいる。この取組を進めていく中で、新しい森づくりの担い手の育成や森づくりの方法などを探りつつ、実効性の高い保全の方法を検討、確立していく。	B	B	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
			財源の強化・拡充	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定と併せ検討する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				平成23年度からは、郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付するため、サントリーフーズ(株)と新四季創造(株)とあきる野市の三者で契約を締結した。	A	A	平成23年度の取組を継続する。また、郷土の恵みの森づくりをPRするための作成した市民向けのパンフレットに寄付を募る用紙を加えて周知を図っていく。さらに、今後は、寄付金の使途が明確になる具体的なプロジェクトを検討する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				林道整備や東京都花粉対策事業の実施などに伴い、市有地内の立木の伐採を行った場合に、立木の売払収入を得ている。この収入について、今後の森づくり事業の財源とするため、郷土の恵みの森づくり事業基金へ積み立てを行った。	A	実施予定なし	財政課	
			ボランティアの育成・活用	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
				町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う普道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成23年度においては、市職員に森づくりに関心のある方(市民・企業・団体)を加え(平成24年3月末現在89人)、18回の活動に191人が参加した。	A	A	平成23年度の取組を継続する。ボランティアが使用するカマやトンガ、ジョレン、草刈り機などの充実を図るとともに、活動を盛り上げ、一体感を醸成するため、ぼうしやタオルなどの装備を確保する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	実施していない	C	生物多様性地域戦略策定と併せ検討する。		環境課 (H24～環境政策課)	
					里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行う「菅生若宮子ども体験の森事業」を地元住民との協働により推進するとともに、秋川消防署レスキュー隊や五日市警察署山岳警備隊、東京都レンジャーなどとの連携強化を図っている。 また、自然や郷土を愛し、あきる野の自然と文化を守り引き継いでくれる森の守り人を育成するため、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織（小学校4年生から中学1年生までの19人）し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりの取組を進めた。	A	A	平成23年度の取組を継続する。		環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布した。	A	緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布する。		農林課	
		一般	市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現	開発計画への市民参加の仕組み化	土地利用計画策定の際、委員の市民参加及びパブリックコメントの募集を実施した。	A		土地利用方針等のパブリックコメントの募集の実施を予定している。		都市計画課
				景観形成モデル地区の設定	実施していない	C	C	実施予定なし		都市計画課
					実施していない	C		実施予定なし		区画整理推進室
				自然環境に適合した既存計画、線引き・用途区域等の見直し	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行った。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	B		数箇所の編入について、計画・東京都協議を行う。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。		都市計画課
				環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	実施していない	C		実施予定なし		都市計画課
				地域別環境づくりの方針の活用 (地区計画制度の活用)	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行った。	A	A	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行う。		都市計画課
	実施していない	C			実施予定なし		区画整理推進室			
	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林法改正に伴い、多摩地域森林計画の策定及び変更をした。	A		昨年度、策定及び変更をし、5年ごとの見直しのため、今年度の実施予定なし		農林課	
				平成22年3月に策定した郷土の恵みの森構想や平成23年3月に策定した郷土の恵みの森づくり基本計画において、市域の森について、地形や資源の分布状況などと町内会・自治会の単位などから、主要な7つの地区に区分し、整備方針を定めている。この整備方針に基づき、各町内会や自治会は、昔道・尾根道の整備や景観整備に取り組んでいる。	A	A	平成23年度の取組を継続する。		環境の森推進室 (H24～環境政策課)	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大 (モデル地区による「美林の里」づくり)	戸倉地区において、スギを伐採し、広葉樹の植栽を行った。(花粉対策事業)	A	花粉対策事業(色彩豊かな森事業)の事業廃止により実施予定なし	農林課	
				産学官による森づくりにおいて、モデル地区である菅生地区の大沢にある市有地においては、地域の方を中心にワークショップ形式で残土による盛り土部の土地利用の方針を検討している。平成23年度においては、試験的にマツを植樹した。	B	平成23年度の取組を継続し、大沢にある市有地において、森づくりを進める。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
		重点	地域の魅力を高める森づくり(モデルプラン)の推進	深沢地区においては、深沢川周辺と南沢地区において景観整備を実施しており、大カシから堀田尾根にかけて尾根道の整備に取り組んでいる。本地区には、五日市憲法草案の発見された深沢家の土蔵や南沢のアジサイ、深沢小さな美術館などの観光資源が存在しており、森づくりによる散策コースの整備や大カシという観光資源の発掘、そしてこれらを結ぶルートの提案など、モデルプランとして情報発信をしている。落合自治会や養沢自治会との連携により整備された尾根道とあわせ、武蔵五日市駅～大カシ～堀田尾根～金比羅尾根～横根道～瀬音の湯という山歩きのコースも整備され、あきる野市においても、本年2月25日には、このコースで山歩きのイベントを計画したが、雨で中止になった。また、菅生地区については、良好な里山環境という地域資源を生かしつつ、産学官による森づくりにより地域の方を中心に取組を進めている。その他、本地区には、良好な里山環境の中、南北に散策に適したゆるやかな尾根道があり、地域の方により尾根道の整備が行われている。	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
				次世代につなぐ森づくり	平成23年度は、7つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備が行われており、8つの自治会により、道路補修や植樹など景観整備が行われている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつかのコースが確保された。	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				森の魅力発信	イベントとしては、菅生若宮子ども体験の森において、12月3日に「里山遊びをしよう!」、3月17日に「里山たんけんだ!」を実施した。また、雨で中止したが、武蔵五日市駅から瀬音の湯までの山歩きのイベントを計画した。産学官の連携事業では、11月19日に「マツを植えよう」、2月11日に「里山散策と森づくり体験」、3月11日に「椎茸の駒打ちと里山遊び」を実施した。また、森林レンジャーが実施している森の巡視や動植物の調査、森の子レンジャーの活動などの状況や森の資源などについては、毎月発行の「レンジャー新聞」や広報あきる野の毎月15日号の「レンジャーがゆく」のコーナーで情報提供を行い、PRをしている。さらに、森の子レンジャーの活動に取り組んでいる。	A	平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	森林の保全と活用	一般	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	森林法改正に伴い、あきる野市森林整備計画の策定及び変更を行った。	A	昨年度、策定及び変更をし、5年ごとの見直しのため、今年度の実施予定なし	農林課	
				森林資源の需要の喚起 (新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用)	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内整備を実施した。	A	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施予定	農林課	
			重点	森づくりの体制の整備	町内会・自治会等との連携	郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会が取り組んでいる昔道・尾根道の補修や景観を整備する郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付するとともに、森林レンジャーあきる野や森林サポートレンジャーあきる野等が整備作業等を支援した。平成23年度においては、昔道や尾根道の補修事業を9地区、景観整備事業を9地区で実施した。	A	平成23年度の実績を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備	平成22年5月に組織した森林レンジャーあきる野が継続的に活動をしている。また、森林サポートレンジャーあきる野については、平成22年度から市の職員により活動を開始し、平成23年度からは、森づくりに関心のある市民等を加えて活動をしている。	A	平成23年度の実績を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					郷土の恵みの森づくり事業基金の運用	郷土の恵みの森づくり事業を推進するために寄せられた寄付金については、郷土の恵みの森づくり事業基金に積み立てており、予算編成上の必要性により活用している。	A	平成23年度の実績を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
			一般	環境の森推進室の設置による森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施	A	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施予定	農林課		
		市民参加の森づくり事業の推進 (ボランティアの育成・活用の仕組みづくり)			町内会・自治会が取り組んでいる郷土の恵みの森づくり事業については、地域住民や森林サポートレンジャーあきる野が協働して整備事業を進めている。一部地域においては、民間の任意団体がボランティアでこのような整備に協力して活動をしている。また、産学官の連携による森づくりに関しては、あきる野管生の森づくり協議会を組織し、構成する各団体により森づくりの取組をボランティアで進めている。	A	平成23年度の実績を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
		活動資金の確保 (緑地保全基金の活用(再掲))		実施していない	C	実施予定なし	農林課		
				実施していない	C	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)		
				平成23年度からは、郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付するため、サントリーフーズ(株)と新四季創造(株)とあきる野市の三者で契約を締結した。	A	A	平成23年度の実績を継続する。また、郷土の恵みの森づくりをPRするための作成した市民向けのパンフレットに寄付を募る用紙を加えて周知を図っていく。さらに、今後は、寄付金の使途が明確になる具体的なプロジェクトを検討する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
				当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ300万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。	A		当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	森林保全・活用のための整備の推進	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工した。	A	A	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工予定。	農林課
					森林管理のための林道整備に係る取組としては、町内会・自治会が郷土の恵みの森づくり事業として取り組んでいる昔道・尾根道の整備を行っている。	A		平成23年度を取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
		一般	里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	自然環境調査において調査を実施した。また、横沢入については都の里山保全地域に指定され、都が調査を実施している。	B	B	自然環境調査部会においてフォロー調査を実施する。また、横沢入里山保全地域においても都の調査を継続実施する。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				評価と利活用方針の検討	自然環境調査の調査結果については、今後の保全策検討における資料とする。また、横沢入については都により検討されている。	B	B	自然環境調査ではフォロー調査として調査を継続する。また、横沢入里山保全地域においても、都が調査を継続実施する。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				モデル地区での保全管理活動の実践	モデル地区の選定には至っていない。	C	A	自然環境調査及び森林レンジャーあきる野の調査の内容を踏まえ、モデル地区の選定を検討するとともに、モデル地区の選定の有無に関わらず、保全対策が急がれるところについては、随時保全を進めていく。	環境課 (H24～環境政策課)
					菅生地区では、良好な里山環境という地域資源を生かしつつ、産学官による森づくりにより地域の方を中心に取組を進めている。その他、本地区には、良好な里山環境の中、南北に散策に適したゆるやかな尾根道があり、地域の方により尾根道の整備が行われている。	A		平成23年度を取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				各地域での保全策の検討	自然環境調査部会において市内の自然環境についての課題抽出を行った。なお、横沢入では都により管理計画が検討されている。	B	A	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。また、保全対策が急がれるところについては、随時保全を進めていく。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施	A		横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施予定	農林課
				緑地保全基金の活用（再掲）	実施していない	C	A	生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ300万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。	A		当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般 里山の保全と活用	ボランティアの育成・活用（再掲）	横沢入ではボランティアの活用により里山保全が図られている。	A	A	継続実施する。	環境課 (H24～環境政策課)		
				町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」を設置し、町内会・自治会が行う普道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成23年度においては、市職員に森づくりに関心のある方（市民・企業・団体）を加え（平成24年3月末現在89人）、18回の活動に191人が参加した。	A		平成23年度の取組を継続する。ボランティアが使用するカマやトンカ、ジョレン、草刈り機などの充実を図るとともに、活動を盛り上げ、一体感を醸成するため、ぼうしやタオルなどの装備を確保する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)		
				実施していない	C		実施予定なし	生涯学習推進課		
				市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、開設実習を修了したので解説員として認定した。4名	A		市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、開設実習を修了した者を解説員として認定する。5名（予定）	公民館		
		一般 学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	学校里山ゾーンの設定はしていないが、横沢入では増戸小児童による稲作体験が実施されている。	実施していない	B	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)		
				「郷土の恵みの森構想」に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加した。	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)		
				「郷土の恵みの森構想」に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加した。	A		「郷土の恵みの森構想」に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加していく。 また、小宮ふるさと自然体験学校を利用した自然体験学習を各小学校で実施していく。	指導室		
		一般 秋留台地一帯の農地の保全と活用	農業振興計画との整合	遊休農地を認定農業者等に利用集積した。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発した。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施した。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導も行なった。 ・農地の散策や収穫体験を実施した。	A	A	遊休農地を認定農業者等に利用集積を実施する。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発する。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施する。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導を行う。 ・農地の散策や収穫体験を実施する。	農林課		
				農地の環境面からの機能のPR	実施していない		C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
				中山間地域ふれあい農業の検討	実施していない		C	農地の利用集積により農産物の生産・販売の促進を進める。	農林課	
				あきる野産の農産物の利用拡大の検討	地元産野菜の学校給食への使用を検討した。		C	地元産野菜の学校給食への使用を進める。	農林課	
				遊休農地の活用方策の検討・推進（学校農園、市民農園など）	遊休農地の調査に基づき、地主に対しての意向調査を行った。		A	A	遊休農地の調査に基づき、地主に対しての意向調査を行う。	農林課
					総合的な学習の時間等を通して、農地を借りて農業体験を実施した。		A		前年同様に実施していく。	指導室
				人材育成と活用の仕組みづくり（農業委員会との連携・後継者の育成支援）	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や意見交換会を実施し交流を図った。		A	農業委員会と認定農業者、農業後継者との合同視察研修や意見交換会を実施し交流を図る。	農林課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般 秋川・平井川流域の総合的な保全	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境課 (H24～環境政策課)	
						秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境課 (H24～生活環境課)	
			秋川・平井川流域における環境保全の推進	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境課 (H24～環境政策課)
				実施していない			C	実施予定なし
			公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	戸倉、乙津地区においてスギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹の植栽を行った。（花粉対策事業）	A	A	スギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る。	農林課
			湧水の保全 (湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進)	東京都が湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等57箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行った。また、環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図った。			A	A
				開発指導要綱に基づき、雨水浸透を指導している。	A	環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図る。		
			親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	実施していない	C	C	実施予定なし	建設課
			崖線地区の保全 (市街化調整区域への指定変更、公有地化)	保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行った。			A	A
				線引き変更の検討	C	線引き変更の検討	都市計画課	
			市民意識の啓発	清流保全を呼びかける看板については設置済みである。また、清流保全協力員によるパトロールを実施している。平成23年度においては、清流保全協力員から要望があった、平井川周辺の遊歩道への犬のふん持ち帰りを呼びかける看板を設置した。	C	C	平成23年度と同様に実施する。清流保全協力員から意見・要望等があった場合には必要に応じて対応する。	環境課 (H24～生活環境課)
			モデル地区での水質浄化活動	モデル地区の設定がされておらず、実施していない。			実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
							実施予定なし	環境課 (H24～生活環境課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	適正な評価の実施	実施していない	C	B	実施予定なし	生涯学習推進課
					実施していない	C		実施予定なし	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					自然環境調査を実施するとともに、ジオパークの検討が進められた。	B		自然環境調査を実施するとともに、ジオパークの検討を進める。	環境課 (H24～環境政策課)
				財源の確保	実施していない	C	C	実施予定なし	生涯学習推進課
					実施していない	C		ジオパークの検討と併せ、検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
				文化財の指定、開発の抑制	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢島の巢石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開した。	A	A	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢島の巢石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開する。	生涯学習推進課
					実施していない	C		実施予定なし	都市計画課
				郷土学習の支援（多様な連携づくり）	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加、自然環境調査会議への参画等を行った。	A	A	公民館との事業連携を始め、横沢入里山保全地域運営協議会へのオブザーバー参加を行う。	生涯学習推進課
					森林レンジャーあきる野は、都立五日市高校の総合的な学習の時間や寿大学、ふれあいウォーク、市立中学校教育研究会（理科研修）、幼稚園協議会講演会（保護者）、同講演会（教員）、南秋留小学校での動植物調査講演会、秋川ロータリークラブ講演会など、各団体が進める環境学習の支援を行った。	A		平成23年度の取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
					自然環境調査において「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を作成した。	A		「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を学校等に配布する。	環境課 (H24～環境政策課)
				都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢島の巢石灰層等の公開を支援し、特質ある地質・地形の周知を図った。また、ミエソウの化石複製の展示を行うと共にその紹介パンフレットを発行を行った。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行う。さらに、「一房のぶどう」に自然等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とした。	A	A	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢島の巢石灰層等の公開を支援し、特質ある地質・地形の周知を図る。また、ミエソウの化石複製の展示を行う。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PRを行う。さらに、「一房のぶどう」に天然記念物や地形の特質等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とする。	生涯学習推進課
					自然環境調査において、地質・地形に関する調査を実施した。また、市民に周知を図るため「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を作成した。	A		自然環境調査部会において作成した「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を無料配布する。また、自然環境調査部会において、平成21～23年度の調査結果を基に、市民向け調査報告書を作成する。	環境課 (H24～環境政策課)
				文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とした。	A	A	自然に関わる写真展や資料の展示を行い、地質、地形等の特性についての環境保全啓発の機会とする。	生涯学習推進課
					市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を48回実施	A		市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を41回実施（予定を含む）	公民館

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般 公害の防止	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
			環境関連講座の開催	実施していない	B	実施予定なし	環境課 (H24～生活環境課)	
			環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	これまでと同様に必要な環境調査を実施するとともに、環境の変化に合わせ、項目の見直し等を行っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
			自動車による大気汚染の低減 (自動車利用の抑制、エコドライブの推奨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進した。</li> <li>庁用車2台にアイドリングストップ装置を試験的に導入し、効果の検証を行った。</li> <li>月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行った。</li> <li>エコドライブ啓発ステッカーを庁用車に掲出した。</li> <li>市職員を対象にエコドライブ講習会を実施した。（実技：1月23日6人、座学：2月7日116人）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。</li> <li>給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行う。</li> <li>月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行う。</li> <li>庁用車へのエコドライブ啓発ステッカー掲出を継続する。</li> <li>事業者向けのエコドライブ実践中ステッカーを作成し、配布する。</li> <li>エコドライブ講習会を実施する。</li> </ul>	環境課 (H24～環境政策課)	
				CO2排出及び大気汚染の要因となる本庁舎の庁用自動車の燃料について、平成22年度比で1,212ℓ（3.8%）の削減が図られた。	A		公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、CO2の排出量の削減（庁用自転車活用を含め）を推進する。	総務課
			公共交通機関等の利用促進 (駐輪場の整備、るのバス等の充実)	会議回数5回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。	A	A	JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組む。	企画政策課
				「低排出ガス重量車」に認定されている車両をコミュニティバスとして導入している（H23年度購入車両：るのバス）。	A		引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。（H23年度購入車両：るのバス）。	地域防災課
			低公害車の率先導入	「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している（H23年度購入車両：第1分団第1部及び第4分団第3部のポンプ車）。	A	A	買い替えが必要となる第6分団本部のポンプ車について、「低排出ガス重量車」に認定されている車両を導入する。	地域防災課
				低公害車3台の導入	A		低公害車4台の導入予定	総務課
			低公害車の普及・啓発（情報提供）	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)
			粉じん防止対策の充実	粉じん苦情件数：2件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A		都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課 (H24～生活環境課)
			悪臭防止対策の充実	悪臭苦情件数：11件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A		都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課 (H24～生活環境課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	事業所排水対策	排水水質調査・是正指導	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施した結果、環境基準を超過した事業所はなかった。	A	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施する。	環境課 (H24～生活環境課)
			生活排水対策	下水道への接続啓発・普及	広報、接続依頼通知の発送、戸別訪問によるチラシの配布を行った。	A	平成23年度と同様である。	下水道課
				下水道の整備	下水道の整備面積3ヘクタールを実施した。	A	下水道の整備面積約5ヘクタールを実施する予定である。	下水道課
				合併処理浄化槽の設置補助(補助金)	合併処理浄化槽設置補助基数：15基 既存単独浄化槽撤去補助基数：1基 生活排水対策の一環として、国、都、市で下水道設置認可区域外における合併処理浄化槽設置に補助金を交付した。	A	制度等については、前年度と同様である。補助件数として、設置補助基数：16基(目安) 単独浄化槽撤去補助基数：1基(目安)	環境課 (H24～生活環境課)
		一般	家庭・事業所排水対策(普及・啓発の実施)	水質汚濁(排水に係るもの)苦情件数：1件 合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	A	合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。	環境課 (H24～生活環境課)	
			下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	実施していない	C	実施予定なし	下水道課	
			工場・事業場からの騒音防止対策の充実	工場・事業場に関する騒音苦情件数：0件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	環境課 (H24～生活環境課)	
			道路交通騒音対策の実施(都等への要望)	実施していない	C	要望に応じ実施する。	建設課	
			近隣騒音防止対策の充実(啓発・指導)	近接騒音苦情件数：10件 苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行っている。	A	苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行う。	環境課 (H24～生活環境課)	
			航空騒音対策の実施(関係機関への要請)	苦情件数：22件 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要請している。 未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請している。	A	苦情件数：8件 (平成24年6月8日現在) 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望する。また、未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。	企画政策課	
			有害化学物質に係る情報の充実(情報提供)	東京都等を通じて寄せられる有害化学物質の情報等について、必要に応じて周知を図っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
			有害化学物質の使用の適正化の促進(届出に係る指導)	有害化学物質使用届出件数：12件 有害化学物質を使用している事業者に対し、毎年、使用量報告を提出してもらい、使用の適正化を推進している。	A	有害化学物質使用届出件数：12件(目安) 平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	振動苦情件数：2件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	環境課 (H24～生活環境課)	
				土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	土壌汚染調査結果報告書提出件数：2件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導している。	A	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1件（目安） 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導する。	環境課 (H24～生活環境課)	
				家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支出	A	・畜産農家の巡回指導を実施 ・畜産衛生管理に対する補助金の支援	農林課	
				地下水保全対策の充実（揚水規制）	地下水揚水量報告書提出件数：18件 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらおうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努めてもらっている。	A	A	地下水揚水量報告書提出件数：18件（目安） 平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
					かん水施設管理組合が維持管理している。	A		かん水施設管理組合が維持管理していく。	農林課
		光害防止対策の研究	光害に対する苦情件数：0件 現在のところ、光害に対する苦情は寄せられていないが、国のガイドラインの内容の把握など、研究に努めている。	A		国のガイドラインの内容の把握など、研究に努める。	環境課 (H24～生活環境課)		
		重点	循環型社会の構築	「ごみ会議」の運営・推進	・全体会議開催11回 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・落葉の堆肥化の取組 ・リサイクルフェアへの参加 など	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
				ごみ減量・リサイクル意識の啓発（情報誌「へらすぞう」の発行等）	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的にリサイクルフェアを年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）、秋には、環境問題啓発ポスター展示を実施。情報誌「へらすぞう」発行1回	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
				落ち葉の堆肥化の推進	市内、2か所の公園に堆肥化枠を設置し、地元町内会やごみ会議の協力を得て落葉の堆肥化を実践した。	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
		一般	循環型社会の構築	グリーン購入の推進（考え方や商品等の紹介・PR）	実施していない	C		へらすぞう等で周知を図る。	環境課 (H24～生活環境課)
				省資源（レジ袋削減・簡易包装等）・ロングライフ（長寿命）化の推進（情報提供・意識啓発）	リサイクルフェア及びへらすぞうで啓発した。	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
				エコショップ認定制度の検討	実施していない	C	C	商工会の協力を得て検討する。	環境課 (H24～生活環境課)
		実施していない	C			実施予定なし	商工観光課 (H24～観光商工課)		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課
				実績	評価	予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般 循環型社会の構築	リサイクルフェアの実施	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的に年2回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）秋には、環境問題啓発ポスター展示等を実施	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			廃食油石けんづくりの普及	廃食油を利用した石けんづくりは、現在のところ3団体（年間13回）が実施しており、秋のリサイクルフェアでは、来場者に配布し、普及を図っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出)	生ごみ堆肥化処理機器購入費の補助及びEM菌バケツ貸与、段ボール方式生ごみ処理講習会の実施 コンポスト 12基 EM菌バケツ 108世帯 209個	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			省資源型経営の推奨	実施していない	C	周知方法等を検討する。	環境課 (H24～生活環境課)
			ごみの戸別収集・有料化	ごみの分別の徹底や排出者責任を明確にすることにより、ごみの減量・資源化の向上を目的とし、平成16年4月より実施。 (平成22年度：23,775 t →平成23年度：23,774 t)	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			資源集団回収の実施	ごみの減量、資源化を推進し資源循環型社会の推進を図る。 105団体 回収量 2,016トン	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			ペットボトル等拠点回収実施	毎週2回拠点回収した。 回収箇所 113箇所 回収日数 104日 回収量 133トン	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			新たなリサイクルシステムの検討	実施していない	C	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			剪定枝等のリサイクル方法の検討	平成22年度に落葉の堆肥化枠を2基設置したが、23年度も新たに1基設置した。	A	平成24年度も継続していく。	環境課 (H24～生活環境課)
			放置自転車リサイクルの実施	市が管理する自転車等駐車場に放置された自転車39台を公共若しくは公共的団体に無償譲渡し、再活用してもらっている。	A	引き続き、公共機関等での再利用に取り組む。	地域防災課
			環境低負荷型の収集の実現 (効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化)	委託事業により、環境低負荷型の収集を行った。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
			ごみ焼却に伴う環境負荷の低減 (ダイオキシン類の発生抑制等)	市のごみは、西秋川衛生組合の焼却場で焼却処理しているが、環境基準に対応するよう施設の管理をしている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
清掃工場の適正管理	西秋川衛生組合において、環境基準に対応するよう定期的に施設の点検・整備を行っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課			
				実績	評価	予定・進捗					
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	公園の整備の推進	公園の植樹 400本 民間遊び場の補助 3件	A	A	公園の植樹 50本予定 道路の植樹 道路新設状況による 民間遊び場の補助 申請により交付	管理課			
				平成23年度については実施していない	B		実施予定なし	建設課			
				実施していない	C		実施予定なし	区画整理推進室			
				環境委員会において公園等の樹木の伐採のあり方について指摘があったため、担当課に対し配慮を呼びかけた。	B		樹木の枝の剪定や伐採をする際は、必要最小限に留めるよう注意喚起する。	環境課 (H24～環境政策課)			
			緑化の推進（開発時の緑化指導）	ふるさとの緑地保全条例に基づき緑化指導を行っている。	A	A	ふるさとの緑地保全条例に基づき緑化指導を行う。	環境課 (H24～環境政策課)			
				開発指導要綱に基づき指導を行っている。	A		平成23年度と同様である。	都市計画課			
			緑化の効果のPR	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの種を配布した。	A	A	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗及び種を配布するとともに、グリーンカーテン講習会を実施する。また、グリーンカーテンコンテストを実施する。	環境課 (H24～環境政策課)			
			重点	市街地における緑の確保	地元野菜の普及・活用（食育）	施設園芸（温室等）化	要望調査を実施した。 3直売所の農作物売上調査を実施した。	A	A	要望調査を実施する。 3直売所の農作物売上調査を実施する。	農林課
						保育園給食等への供給検討・実施	学校給食への導入を検討した。	B	B	学校給食への導入を進める。	農林課
		地元産野菜を題材にした食育の推進				学校給食に市内産のらぼう菜を使用した。	A	A	学校給食にのらぼう菜以外の野菜の使用を検討する。	農林課	
		「めざせ健康あきる野21」計画に基づき地元産の食材をテーマにレシピを募集し調理講習会を実施した。			A	ファーマーズセンター等へ安心安全な食材を地産地消するレシピの設置を実施する。	健康課				
		農業の振興・支援			後継者の育成支援	補助金の支出 先進地の視察を実施した。 農業委員との意見交換を行った。	A	A	補助金の支援 先進地視察の実施 農業委員会との意見交換会の実施	農林課	
			獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援 箱わな58台活用 獣害被害108件（昨年度より3件減少）	A	A	獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援	農林課				
		農地の適正管理と活用	生産緑地制度の推進・管理追加指定（希望者把握・協議）	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をした。 定期的なパトロールは年1回実施。 生産緑地の追加指定を随時実施している。	A	A	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をする。 定期的なパトロールは年1回実施する。 生産緑地の追加指定を随時実施している。	農林課			
				申請がなかったため生産緑地の追加指定を行わなかった。	A		実施予定あり。6月末までの申請については平成24年度に都市計画決定を行う予定である。	都市計画課			
市民農園制度の活用 取組方策の検討（遊休農地の活用ほか）	市民農園は、空き区画が残っており、新規開園は行わなかった。 市民農園利用者に農業講習会を年2回実施した。		A	A	規模の大きい市民農園の開設を検討する。 市民農園利用者に農業講習会を年2回実施する。	農林課					

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
					実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	市街地における緑の確保	保存樹木・保存緑地の指定	保存樹木の指定を推進した。	A	保存樹木の指定を推進する。		環境課 (H24～環境政策課)		
				みどりの大切さのPR	地球温暖化対策として、広報・ホームページでPRした。	B	地球温暖化対策として、PRを続けるとともに。生物多様性地域戦略策定に関連してPRを検討する。		環境課 (H24～環境政策課)		
		重点	魅力ある川づくり	市民参加による清流の保全	清流保全協力員活動 (看板の設置等)	清流保全条例に基づき設置した清流保全協力員の協力のもと、河川パトロール、水質調査(COD)、ホタルの生息状況調査等を実施している。	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)	
					市民参加型イベントの検討・実施	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生きもの調べ」を企画したが、雨天・増水のため、中止となった。(8月27日)	B	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生きもの調べ」を実施予定。		環境課 (H24～環境政策課)	
					活動の公表の検討	実施していない	C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
								実施予定なし		環境課 (H24～生活環境課)	
					河川景観の整備	河川管理者に依頼し、草刈り等を行った。(5か所)	A	平成23年度と同様である。		環境課 (H24～生活環境課)	
						実施していない	C	実施予定なし		建設課	
				川遊びのマナー等の向上 (マナーの周知・清掃活動・不法投棄防止)	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行っている。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努めた。	A	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行う。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努める。		環境課 (H24～生活環境課)		
				ホタルが棲める川づくり	ホタルが見られる場所の調査	実施していない	C	実施予定なし		環境の森推進室 (H24～環境政策課)	
						清流保全協力員の協力のもと、ホタルの生息状況調査を実施した。また、過去の調査結果を参考に自然環境調査においても、生息状況の確認を行った。	A	A	清流保全協力員の調査結果を参考に、自然環境調査においても、生息状況の確認を行う。	環境課 (H24～環境政策課)	
					ホタルが棲める川づくり (ホタルの保護など)	ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に実施している河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組について、ホタルの里づくり推進事業補助金を交付により支援をした。支援は、深沢自治会ほたるの会、南郷用水ホタルの会(雨間町内会)、落合自治会ほたるの会の3団体である。また、圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園については、区域内に水路もありホタルが生息しているため、菅生ホタルの里づくりの会に対し、公園内の清掃等や水路の美化等によるホタルの保全活動を業務委託している。	A	A	平成23年度の取組を継続する。		環境の森推進室 (H24～環境政策課)
						実施していない	C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
				子どもの水辺事業の推進	平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席(1回 7月5日) ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	A	平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席(1回 7月5日) ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示		生涯学習推進課		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	魅力ある川づくり	親水散策路の整備の推進（再掲）	実施していない	C	実施予定なし		建設課	
				あきる野百景の保全・活用の検討	商工観光課において作成した「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレット作成プロジェクトチームに参加した。	A	観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを活用しながら、観光ボランティアの取組を実施する。		環境課 (H24～環境政策課)	
				散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等を行った。	A	A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)	
					実施していない	C	実施予定なし		建設課	
				水と緑のマップの充実	自然環境調査結果に基づき「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを作成した。	A	「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）を無料配布し、市民への周知を図るとともに、生物多様性地域戦略策定の中で検討する。		環境課 (H24～環境政策課)	
	美しく清潔なまちの形成	重点	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画） （区画整理事業区域・線引き変更箇所）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の策定</li> <li>・自然環境調査の実施</li> <li>・まちづくり協議会の開催 （勉強会含む計6回実施）</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定への資料作成</li> <li>・事業認可への資料作成</li> <li>・まちづくり協議会の開催 （計6回予定）</li> </ul>	区画整理推進室	
					平成23年度については実施していない	A	線引き変更に伴い検討する。		都市計画課	
				歩きやすいみちづくり（散策路、遊歩道の整備）	平成23年度については実施していない	A	実施予定なし		建設課	
					市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等を行った。	A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。		商工観光課 (H24～観光商工課)	
		平成23年度は、7つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備が行われており、8つの自治会により、景観整備が行われている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつかのコースが確保された。これに加え、景観整備により植えられた樹木等は、散策等で訪れる観光客の目を楽しませている。	A		A	平成23年度の取組を継続する。		環境の森推進室 (H24～環境政策課)		
		一般	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進めている。	A	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。		都市計画課	
				景観保全・形成の方向性の決定 （都市景観ガイドラインの策定等）	実施していない	C	C	未定		都市計画課
					実施していない	C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
				市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発 （a.マナーやルール、b.まちづくり教育・組織づくり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮まちづくり協議会開催（視察研修含む計3回開催）</li> <li>・引田まちづくり協議会開催（勉強会含む計6回開催）</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二宮まちづくり協議会開催（視察研修含む計3回予定）</li> <li>・引田まちづくり協議会開催（勉強会含む計6回予定）</li> </ul>	区画整理推進室	
					実施していない	C	実施予定なし		環境課 (H24～環境政策課)	
				商店街の景観整備	実施していない	C	装飾灯の設置予定なし		商工観光課 (H24～観光商工課)	
		まちかど広場等の整備	平成23年度については実施していない	B	実施予定なし		建設課			
		買い物マップの作成	実施していない	C	未定		商工観光課 (H24～観光商工課)			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般 景観の整備	観光スポットのPR	ホームページ、携帯サイトでの情報発信やパンフレットの設置により、PRを行った。	A	A	ホームページ、携帯サイト及びFacebook等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)
			不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	1,730枚を撤去した。	A		900枚の撤去を予定している。	管理課
			電線の地中化の検討	実施していない	C		C	実施予定なし
		実施していない		C	実施予定なし	管理課		
		重点	たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発）	たばこのポイ捨てについては、産業祭でマナー向上の普及を行った。また、JRとマナー向上に向け協議を行った。ごみのポイ捨てについては、ごみ捨て禁止、不法投棄禁止の看板を設置している。	A	A	産業祭でたばこのマナー向上の普及を行う。また、市内5駅周辺での喫煙状況を調査し、喫煙マナーアップキャンペーンの実施を検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
							ごみ捨て禁止、不法投棄禁止の看板を設置する。	環境課 (H24～生活環境課)
			一斉清掃の実施	年2回、春、秋に実施 春15,356人参加 26.32トン収集 秋15,423人参加 27.98トン収集	A	A	平成23年度と同様に実施する。	環境課 (H24～生活環境課)
			ボランティア活動の推進 (ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収)	配布箇所 11施設 配布枚数 ・可燃大 787組 ・可燃小 222組 ・不燃大 353組 ・不燃小 183組	A	A	平成23年度と同様に実施する。	環境課 (H24～生活環境課)
		清潔なまちづくり	ポイ捨て防止などの対策の研究	ポイ捨て防止対策についてJRと協議を行った。	B	B	市内5駅周辺でのたばこの吸殻のポイ捨て状況を調査する。	環境課 (H24～環境政策課)
			不法投棄防止対策の充実	シルバー人材センターに委託し、不法投棄防止パトロールの実施及び不法投棄がされやすい場所に不法投棄防止の看板を設置している。	A		実施予定なし	環境課 (H24～生活環境課)
			ごみ会議の開催	・全体会議開催11回 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・落葉の堆肥化の取組 ・リサイクルフェアへの参加 など	A	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
		一般	道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	従来どおりの管理を実施	A	A	従来どおり管理を実施	建設課
				アダプト制度を導入し、市民団体等による管理を実施した。	A		アダプト制度の登録団体の拡大を行い、市民団体等による管理を実施する。	管理課
				一斉清掃の実施や、ボランティアとして清掃する人にボランティア袋を配布した。	A		平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	清潔なまちづくり	空き地の適正管理	あき地の適正管理に対する苦情件数：28件 あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導している。	A	あき地の適正管理に対する苦情件数：20件（目安） 平成23年度と同様である。	環境課 （H24～生活環境課）	
				ペットの飼い方等の意識啓発	広報紙等によりペットの飼い方等の啓発活動を実施した。	A	平成23年度と同様に継続実施する。	健康課	
				苦情対策	ペットに関する苦情件数：1件 ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能な範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をしている。	A	ペットに関する苦情件数：1件（目安） 平成23年度と同様である。	環境課 （H24～生活環境課）	
					（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を実施した。	A	（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を継続実施する。	健康課	
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	地球温暖化対策地域推進計画の策定	あきる野市地球温暖化対策地域推進計画策定検討委員会を立ち上げ、検討を進めた。（H23.11.18、H24.2.28計2回）	B	地球温暖化対策地域推進計画を策定予定	環境課 （H24～環境政策課）	
				市全域の温室効果ガス排出量の把握	299.6千トン-CO2（2009年） ※出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果：多摩地域の温室効果ガス排出量（1990年度～2009年度）	A	オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において温室効果ガス排出量を算定する。	環境課 （H24～環境政策課）	
				省エネ教育の推進	学校での教育プログラムの実施	節電、節水に関する授業を全校で取り組んだ。また、ゴーヤなどの育成を通して省エネ教育に取り組んだ。	A	環境教育の授業を全校で取り組む。	指導室
					事業所への働きかけ	商工会で独自に施策を実施したため、市においては東京都で実施する省エネ診断等のリーフレットを設置するなど情報提供を行った。	B	商工会に対し、情報提供を行っていく。	環境課 （H24～環境政策課）
				制度の検討	国や都、他自治体の取組について情報収集を行った。	A	地球温暖化対策地域推進計画策定と併せ検討する。	環境課 （H24～環境政策課）	
				カーボン・オフセットの活用	現行の取組の把握・整理・検証	実施していない	C	実施予定なし	農林課
						オール東京62市区町村共同事業「みどり東京温暖化防止プロジェクト」の一環で、秋のリサイクルフェアにおいて試験的にカーボンオフセットを実施した。	B	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）
					広域的な連携による研究	実施していない	C	実施予定なし	農林課
						オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において試験的にカーボン・オフセットを実施した。（あきる野市では、秋のリサイクルフェアでカーボン・オフセットを実施した。）	B	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）
				森づくりと連携したカーボン・オフセットの仕組みづくり・活用の検討	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行った。	A	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行う。	農林課	
実施していない	C	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）						

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	自動車対策	エコドライブの普及・啓発	各種支援制度の利用等の検討	・エコドライブ実技講習会：平成24年1月23日実施（午前・午後各1回、拜島自動車教習所、受講者：6人） ・エコドライブ座学講習会：平成24年2月7日実施（2回、庁舎会議室、受講者：116人）	A	エコドライブ講習会を実施する。	環境課 （H24～環境政策課）	
					啓発の実施	・アイドリングストップ装置を庁用車2台に試験的に導入した。 ・庁用車にエコドライブ啓発ステッカーを掲出した。 ・市職員を対象にエコドライブ講習会を実施した。（実技：6人、座学：116人） ・庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの空気圧の確認の呼びかけを行った。	A	・庁用車2台のアイドリングストップ装置の装着を継続し、効果検証を行う。 ・庁用車へのエコドライブ啓発ステッカーの掲出を継続する。 ・庁用車の燃費把握を行う。 ・庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの空気圧の確認及び給油時の燃費確認の呼びかけを行う。	環境課 （H24～環境政策課）	
					講習会（座学・実技）等の開催	・エコドライブ実技講習会：平成24年1月23日実施（午前・午後各1回、拜島自動車教習所、受講者：6人） ・エコドライブ座学講習会：平成24年2月7日実施（2回、庁舎会議室、受講者：116人）	A	市職員及び市内事業者を対象に講習会を実施予定	環境課 （H24～環境政策課）	
						公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、内部監査で職員に把握状況の確認をするとともに毎月の庁用自動車の点検時に総務課長から指導している。	A	公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、啓発、普及をしていくとともに毎月の庁用自動車の点検時に総務課長から指導していく。	総務課	
						実施していない	C	実施予定なし	職員課	
				自転車利用の促進	施設整備の実施	実施していない	C	B	実施予定なし	地域防災課
						平成23年度については実施していない	B		実施予定なし	建設課
					自転車優遇方策の検討	実施していない	B	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）	
				一般	自動車対策	「車に乗らない日」の普及・啓発	実施していない	C	実施予定なし	環境課 （H24～環境政策課）
						公共交通機関の利用促進	実施していない	C	A	実施予定なし
		会議回数5回 JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。	A				JR五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組む。	企画政策課		
		自転車専用のインフラ整備	実施していない			C	実施予定なし	建設課		
		低公害車の率先導入（再掲）	低公害車3台の導入				A	A	低公害車4台の導入予定	総務課
			「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車、コミュニティバスとして導入している（H23年度購入車両：第1分団第1部、第4分団第3部のポンプ車及びのバス）。		A	買い替えが必要となる第6分団本部のポンプ車について、「低排出ガス重量車」に認定されている車両を導入する。	地域防災課			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	自動車対策	低公害車の普及・啓発（再掲）	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図っている。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)	
				燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施（エコエネルギーステーションの設置研究ほか）	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
		重点	省エネルギー対策の普及・啓発	情報提供と協力呼びかけ	春のリサイクルフェアにおいて、太陽エネルギー見本市を開催し、太陽光発電システムと太陽熱利用機器の紹介を行った。また、産業祭における環境展において、冬の省エネに関するチラシを作成するとともに、冬期の省エネの呼びかけを行った。省エネモニターに対し、啓発用のチラシ等を配布した。	A	春のリサイクルフェアにおいて、太陽エネルギー見本市を開催し、太陽光発電システムと太陽熱利用機器の紹介を行う。	環境課 (H24～環境政策課)	
				セミナーの開催	実施していない	C	未定	環境課 (H24～環境政策課)	
			省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	ホームページで周知を図るとともに、省エネモニター登録者へ改めて周知を行った。	A	引き続き普及・啓発を図る。	環境課 (H24～環境政策課)	
				省エネモニター制度の実施	これまでのモニターに加え、新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者をモニターに登録した。（省エネモニター登録数 継続者53+補助金受給者39=92世帯） また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックするとともに、市ホームページにもデータの掲載を行った。	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者をモニターに登録する。また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックする。	環境課 (H24～環境政策課)	
			雨水貯留槽設置の導入促進	雨水貯留槽の設置支援	設置費補助53件 計775,000円（補正予算対応あり）	F		環境課 (H24～環境政策課)	
			一般	電力使用量の削減	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）	・パンフレット等を設置し、周知を行った。 ・太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 補助件数39件（太陽22・太陽熱1・エコキュート12・エコジョーズ4） ・東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行った。（広報・ホームページ掲載、町内会・自治会各戸配布、ポスター掲示、パンフレット設置等）	A	パンフレット等を設置し、周知を行う。 太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行う。 電力需給に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行う。	環境課 (H24～環境政策課)
					事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	広報、ホームページで周知を図るとともに、商工会へ情報提供を行った。	A	ホームページで周知を図るとともに、商工会へ情報提供を行う。また、地球温暖化地域推進計画策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
					事業所のエネルギーマネジメントの普及	実施していない	C	地球温暖化対策地域推進計画策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
		中小事業所や商店に対する普及・啓発			東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、広報・ホームページ及び商工会を通じて節電・省エネの呼びかけを行った。	A	広報・ホームページ及び商工会を通じて節電・省エネの呼びかけを行う。	環境課 (H24～環境政策課)	
		公共施設での「あきる野エコ活動」の推進			公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、庁舎の電気使用量について、平成22年度比で188,297kwh（12.75%）の削減が図られた。	A	節電対策と併せ公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、より一層の削減を実施する。	総務課	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
エネルギー環境	新エネルギーの導入	重点	家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進	情報提供と普及促進	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金制度に合わせ、太陽エネルギー見本市を実施した。また、広報・ホームページで周知を図った。	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金制度に合わせ、太陽エネルギー見本市を実施する。また、広報・ホームページで周知を図る。	環境課 (H24～環境政策課)	
				新エネルギー・省エネルギー機器の設置支援	太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 ・補助件数39件(太陽光22・太陽熱1・エコキュート12・エコジョーズ4、エコウィル0、エネファーム0)	A	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置に対し、補助金を交付する。 (補助予定数：太陽光20、太陽熱8、エコキュート10、エコジョーズ10、エコウィル2、エネファーム2)	環境課 (H24～環境政策課)	
		一般	新エネルギー技術の活用	事業所での新エネルギーの導入促進	都と連携し、商工会・商工観光課を通じて情報提供を実施した。	A	都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施していく。	環境課 (H24～環境政策課)	
				新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	春のリサイクルフェアにおいて、東京都が実施する太陽エネルギー見本市を実施した。	A	春のリサイクルフェアにおいて、東京都が実施する太陽エネルギー見本市を実施する。	環境課 (H24～環境政策課)	
				木質バイオマスの利用促進	木質バイオマスを活用し、温浴施設のボイラー燃料供給を行った。	A	A	木質バイオマスを活用し、温浴施設のボイラー燃料供給を図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)
					実施していない	C		実施予定なし	農林課
					実施していない	C		実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
				普及啓発・環境教育の実施	温浴施設での見学受入件数：5件 視察等に応じ対応を行った。	A	A	視察等の受け入れを図る。	商工観光課 (H24～観光商工課)
					実施していない	C		実施予定なし	農林課
		実施していない	C		実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)			
		一般	リサイクル型エネルギーの利用	焼却炉の効率的な稼働の促進	西秋川衛生組合に対し要請している。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)	
				ごみ焼却余熱の利用	西秋川衛生組合において、可能な限り利用している。	B	B	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～生活環境課)
					職員の手洗い用の温水に利用している。	B		平成23年度と同様である。	西秋川衛生組合
		一般	最新動向の把握及び調査研究	新たな新エネルギー技術の導入検討	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					未設置施設への導入検討を行った。(平成23年度については導入なし)	B		引き続き検討を行う。	施設営繕課

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
エネルギー 環境	森林・緑地の拡大 によるCO2の吸収	一般 森林の保全	森林のCO2吸収量に関する普及・啓発	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度を整備した。	A	A	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度の普及・啓発を図る。	農林課
				実施していない	C		地球温暖化対策地域推進計画策定の中で検討していく。	環境課 (H24～環境政策課)
				実施していない	C		実施予定なし	指導室
			森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	森林再生事業（間伐）を実施した。	A	A	森林再生事業（間伐）を実施する。	農林課
				実施していない	C		生物多様性地域戦略や地球温暖化対策地域推進計画を策定する中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
			総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施した。	A	A	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施する。	農林課
			地域林業の活性化（再掲）	郷土の恵みの森づくり事業による積極的支援を実施した。	A	A	郷土の恵みの森づくり事業による積極的支援の実施を図る。	農林課
			材木生産の合理化とブランドイメージの向上	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度を整備した。	A	A	二酸化炭素固定化認証制度の登録制度の普及・啓発を図る。	農林課
				実施していない	C		実施予定なし	商工観光課 (H24～観光商工課)
		木材加工産業の育成	東京都補助金の支援など	A	A	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援を図る。	農林課	
			実施していない	C		実施予定なし	商工観光課 (H24～観光商工課)	
		一般 緑化の推進	街路樹、公園樹木の拡大	実施していない	C	A	植栽を行う道路整備計画がない。	建設課
				萩野公園にヒラドツツジを400本植樹した。	A		公園に50本植樹予定	管理課
				実施していない	C		生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
			家庭等での植樹の推進（再掲）	緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの種の配布を行った。植樹の取組については実施できていない。	B	A	緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗及び種の配布を行う。また、植樹の取組については、生物多様性地域戦略策定の中で検討する。	環境課 (H24～環境政策課)
				産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行った。	A		産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行う。	農林課
			グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進（再掲）	平成22年度に落葉の堆肥化枠を2基設置し、堆肥化を図った。また、23年度も新たに1基設置した。	A	A	平成24年度も継続していく。	環境課 (H24～生活環境課)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課	
				実績	評価	予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般 情報の共有	「環境白書」の作成・公表	平成22年度環境白書を発行するとともに、ホームページ等で公表した。	A	平成23年度環境白書を発行する。	環境課 (H24～環境政策課)	
			環境に関する情報の収集・公開	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報や市ホームページで情報を公開している。	A	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)
				環境に関する図書を131冊購入し、貸出等の提供を行った。	A		環境に関する図書を120冊購入予定	図書館
			研究・活動実績等の発表の場づくり	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
			環境情報サイトの立ち上げ	市の環境調査結果をホームページで公表している。また、必要に応じてホームページや広報で情報提供を行った。	B	ホームページ等で情報提供を行っていく。	環境課 (H24～環境政策課)	
			環境情報コーナー等の機能整備の検討	実施していない	C	B	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
		図書館における環境情報コーナーの位置付け、設置・提供方法等について検討を行った。		B	中央図書館2階、展示図書コーナーで、6月の環境月間に合わせて、関連図書・資料の展示を行う予定		図書館	
		重点 環境教育の推進	環境教育の場の充実	自然環境調査において観察会等を実施した。 ・ガサガサで生きもの調べ（8月27日中止） ・雨武主神社の森を調べよう（11月23日） ・自然観察会（五日市湖、化石観察）（11月26日）	A	A	自然環境調査において、観察会等を実施予定	環境課 (H24～環境政策課)
				菅生若宮子ども体験の森事業により、里山体験や環境学習、森の遊び体験などを行った。また、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子レンジャーとして組織（小学校4年生から中学1年生までの19人）し、1年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりにより、環境教育イベントを3回実施した。	A		平成23年度を取組を継続する。	環境の森推進室 (H24～環境政策課)
				「CO2削減アクション月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努めた。	A		「CO2削減アクション月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努める。	指導室
				あきる野親子ふれあい塾「あきる野自然体験教室」を実施した。	A		生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。	生涯学習推進課
				市民カレッジ人材養成入門・専門講座の自然史で「地質から見た自然観察」を実施した。また、親子自然体験学習で、「横沢入でホテルと眠る植物の観察」を実施した。	A	市民カレッジ人材養成入門・専門講座の自然史で「野鳥・植物・地質から見た自然観察」を実施する。また、親子自然体験学習で、「横沢入でホテルと眠る植物の観察」を実施する。	公民館	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成23年度		平成24年度	担当課		
				実績	評価	予定・進捗			
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	重点	環境教育の推進	人材の育成及び活用	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)	
					あきる野親子ふれあい塾「あきる野自然体験教室」を実施した。	A	A	生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。	生涯学習推進課
					市民解説員の認定を受けた解説員が市内を案内する市内探訪（5回）、学校等からの解説依頼を受け実施する解説依頼（26回）を実施した。	A		市民解説員の認定を受けた解説員が市内を案内する市内探訪、学校等からの解説依頼を受け実施する。市内探訪5回、解説依頼26回（予定）	公民館
		一般	環境パートナーシップの形成	市民・事業者・市の協働事業等の推進	協働・団体等のネットワーク化	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					環境委員会として産業祭に環境展を出展した。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施した。環境の森推進室において、森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施した。（活動回数：18回、参加延べ人数428人（内訳…レンジャー：60、サポートレンジャー：191、地域177）	B	環境委員会として産業祭に環境展を出展する。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施する。森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施する。	環境課 (H24～環境政策課)	
					問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境白書作成時の点検評価の際に、意見等の収集を行った。	A	平成23年度と同様である。	環境課 (H24～環境政策課)
		一般	様々な仕組みの検討		財源の確保の検討	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					ボランティアの活用の仕組みづくり	自然環境調査をボランティアで実施した。また、環境の森推進室において、市民の森林サポートレンジャーあきる野を募集し、活動を行った。	B	自然環境調査をボランティアで実施する。また、森林サポートレンジャーあきる野や地元市民と活動を継続する。	環境課 (H24～環境政策課)
					点検・評価への参加の充実	平成22年度の施策進捗状況等をもとに点検評価を行い、環境白書を発行した。	A	平成23年度の施策進捗状況等をもとに点検評価を行い、環境白書を作成する。	環境課 (H24～環境政策課)
					家庭版・学校版ISO等の仕組み検討	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					事業者のマネジメントシステム導入支援	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)
					経済的手法の研究	実施していない	C	実施予定なし	環境課 (H24～環境政策課)